

# 小施策評価シート (平成 27 年度実績評価)

施策コード	26	施策名	都市基盤施設の維持・強化	
小施策コード	26-6	小施策名	汚水処理の充実	
小施策 主管課等コード	902500	小施策 主管課等名	経営企画課	
評価責任者名	石橋 俊一		内線番号	6230
評価シート作成者名	伊藤 亨		内線番号	6231

## Step 1 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

現状と課題	公共下水道をはじめとした汚水処理施設により汚水処理未整備地区の解消を図る必要がある。また、一方で既存施設の耐震化を進めるとともに、老朽施設の大規模な改築・更新を行う必要がある。
取組の方向性	汚水処理施設の整備により、公共用水域の水質を保全して衛生的な水環境を確保します。
対象 (誰(何)を対象として行うのか)	汚水処理施設, 市民
意図 (対象をどのようにしたいのか)	衛生的な水環境が確保される。

## Step 2 成果指標の推移

(↑: 数値を上げていくことを目標とする指標, ↓: 数値を下げていくことを目標とする指標, →: 数値を維持することを目標とする指標)

指標項目	単位	25年度 実績 (現状値)	27年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
A 汚水処理人口普及率 (処理 区域内人口/行政区域内人 口) (↑)	%	95.0	95.2	96.0	97.8
B ( )					
C ( )					

## Step 3 市民ニーズの把握

助成等の制度に対して、広報・HPへの掲載内容への問合せのほか、新規の下水道工事説明会における質疑等で、ニーズ等を把握している。

公共下水道をはじめとした汚水処理施設により汚水処理未整備地区の解消を図るとともに、公共用水域の水質を保全して衛生的な水環境の確保が求められている。

## Step 4 役割分担分析

### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	衛生的な水環境を確保するために、収入の確保から施設建設・維持管理に至るまで、公営企業として主体的に経営を行っている。	60
	国・県・ 他自治体	北上川上流流域下水道関連施設について、県土整備部及び県下水道公社と連携して維持管理を行っている。	30
	市民・ NPO	早期の接続の検討により、普及促進に寄与している。	5
	企業・ その他	早期の接続の検討により、普及促進に寄与している。	5

### 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

公共下水道は主として市街地における下水道を排除し又は処理する為に地方公共団体が管理する下水道で、市が主体的にその運営及び維持管理を行うべきものであるため。

## Step 5 成果・問題点の把握と改革改善案

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

- ・ 汚水処理人口普及率の増。(95.0%→95.2%)
- ・ 浄化槽設置費補助金交付基数が増加している。(H26 : 21 基, H27 : 35 基)
- ・ 水洗化率が向上している。(H26 : 96.9%, H27 : 97.1%)

#### (2) 成果をあげた要因

- ・ 未整備地区における汚水管整備が行われたことによる。
- ・ 浄化槽設置費用に対して約4割程度の補助金交付。
- ・ 新規下水道整備区域における下水道接続の案内の実施及び水洗化普及資金融資制度の運用。

### (3) さらなる成果向上に向けて取り組むべき課題（課題がある場合に記載）

- ・ 浄化槽整備事業における補助金制度の周知。
- ・ 下水道への接続を促進するため、戸別訪問の充実。

## 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

### (1) 小施策における現状の問題点

- ・ 点在する集落が多く管渠整備による整備率の伸び幅が小さい。
- ・ 補修・修繕等が増加している。
- ・ 単独浄化槽や汲み取り便所の使用世帯がある。
- ・ 約 3,400 世帯の下水道未接続世帯がある。

### (2) 現状の問題点が生じている原因

- ・ 未整備地区は郊外が多く、整備に伴う管路延長が大きい。
- ・ 老朽化が進んでいる。
- ・ 浄化槽の設置費用が高額であること。
- ・ 建替えやリフォーム等の際に水洗化を図るため未接続であるという理由の世帯が多い。

### (3) 分析した原因を踏まえて取り組むべき課題

- ・ コスト縮減の検討。
- ・ 早期に診断し、対策を講じることが重要。
- ・ 浄化槽設置費補助金額の見直し。
- ・ 下水道への接続を促進するための、新たな助成制度の創設。

## 3 改革改善案（上記 1 (3) 及び 2 (3) で設定した課題に対する具体の取組）

- ・ 効率的・効果的な污水管整備計画の見直しを行う。
- ・ 各種施設において、予防保全的維持管理を目指し修繕等を実施する。
- ・ 農業集落排水処理区域において、公共下水道への切り替えを進める。
- ・ 浄化槽設置費補助金額の嵩上げ（H28 から実施済み）。
- ・ 下水道への接続を促進するため、新たな助成制度の創設や効率的な戸別訪問の実施。

## Step 6 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）